

平成21年2月3日

各 位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
 代表者 代表取締役社長 犬伏 泰夫  
 (コード番号 5406)  
 問合せ先責任者 秘書広報部長 佐川 豊  
 (TEL 03-5739-6010)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

## 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,420,000	200,000	160,000	80,000	26.64
今回発表予想(B)	2,200,000	119,000	71,000	13,000	4.32
増減額(B-A)	△220,000	△81,000	△89,000	△67,000	――
増減率(%)	△9.1	△40.5	△55.6	△83.8	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,132,405	202,398	157,918	88,923	29.62

## 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,540,000	120,000	100,000	55,000	18.29
今回発表予想(B)	1,395,000	64,000	44,000	11,000	3.65
増減額(B-A)	△145,000	△56,000	△56,000	△44,000	――
増減率(%)	△9.4	△46.7	△56.0	△80.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,283,638	109,926	86,245	42,959	14.28

## 修正の理由

世界的な景気低迷の影響を受け、当社グループを取り巻く環境は第4四半期には更に厳しさを増すものと見込まれ、前回(平成20年10月30日:平成21年3月期第2四半期決算公表時)予想に比べ、通期の連結業績予想を修正しております。

売上高については、鉄鋼やアルミ・銅関連事業における販売数量及び建設機械関連事業における油圧ショベルの販売台数を前回予想から下方修正したことなどにより、2,200億円減収の2兆2,000億円程度と予想しております。

営業利益については、販売数量・台数の減少に加え、アルミ・銅関連事業において地金価格の下落に伴う在庫評価損が、前回予想に比べて拡大する見込みであることなどから、810億円下方修正し1,190億円程度、経常利益についても、890億円下方修正し710億円程度と予想しております。

また、当期純利益については、第3四半期連結会計期間に特別損失として投資有価証券評価損を計上したことなどを踏まえ、670億円下方修正し130億円程度となる見通しです。

なお、単独についても、前回予想に比べ、売上高を1,450億円下方修正し1兆3,950億円程度、営業利益を560億円下方修正し640億円程度、経常利益についても、560億円下方修正し440億円程度と予想しております。

また、当期純利益については、第3四半期会計期間に特別損失として投資有価証券等評価損を計上したことなどを踏まえ、440億円下方修正し110億円程度となる見通しです。

以 上